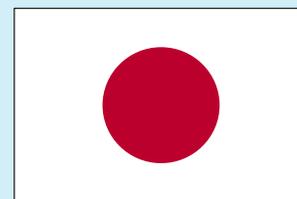


3 国立病院向け 医療機器引渡式

2017年2月17日、グアテマラ市の国立ルーズベルト病院において、エルナンデス・マック保健大臣等の政府要人臨席の下、無償資金協力による医療機器の引渡式を実施しました。



EMBAJADA DEL JAPÓN
EN GUATEMALA



左から 病院長、保健大臣、古谷大使、SOSEP 長官

本件は、母子健康改善への寄与を目的として、約1,200万ケツアル(約2億円)相当の医療機器(可搬式X線撮影装置、人工呼吸器など)を、国立ルーズベルト病院、国立サン・フアン・デ・ディオス病院、国立ケツアルテナンゴ西部地域病院の3病院に対し供与するものです。



エルナンデス・マック保健大臣による挨拶



古谷大使および保健大臣



供与機材(一部)の説明



詰めかけた多くの報道陣

引渡式には、グアテマラ側からエルナンデス・マック保健大臣、ゴドイ大統領夫人社会福祉事業庁(SOSEP)長官、3国立病院長等、日本側から古谷大使が出席したほか、多くの報道機関が取材に訪れました。マック保健大臣ほかグアテマラ側出席者からは、日本政府による本件医療機器供与の実現に対する謝意とともに、少しでも多くのグアテマラ国民の健康改善に資するよう、同機器を適切に管理・活用していくことへの決意が示されました。